















令和4年度 基本評価調書①		所管部局	総合政策部	所管課	国際局国際課		
施策名	外国人の受入拡大			施策コード	0213		
政策体系(中項目)	北海道の未来を拓く人材の育成			政策体系コード	3(2)B		
関連重点戦略計画等	知事公約 創生総合戦略 強靱化計画					事務事業数	8
SDGs	             	総合判定	順調				
予算額(千円)	R 4	108,924	R 3	112,818	R 2	119,016	

施策目標	本道の持続的な発展につなげるため、大学や国際交流団体と連携し、留学生などの受入拡大に向けた環境を整備するとともに、海外とのネットワークの形成を図る		
現状と課題	グローバル化が急速に進展する中、外国人留学生などは増加傾向にあったが、諸外国との出入国制限など新型コロナウイルスの感染拡大の長期化に伴う影響が懸念されており、引き続き、関係団体等と連携を図りながら、受入体制の整備等に努める必要がある。		
前年度二次評価意見	道からの補助金等が事業費の2分の1を超える状況であるが、道が主体的、政策的に関わっていることについては理解する。今後においても道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めること。	対応状況(R4.3時点)	引き続き、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努める。

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<p>○外国青年を道や市町村に配置し、地域社会での諸活動を通じて、地域の外国語教育の充実や地域レベルでの国際交流の進展を推進</p> <p>○北海道国際交流・協力総合センターと連携し、国際協力研修団派遣、南米技術研修員の受入れ、留学生の受入促進・ネットワークづくり等、国際人材を育成する事業の実施</p> <p>○JICAが実施する海外協力隊や発展途上国からの研修員受入事業への協力</p>	<p>○JETプログラムにより、外国青年を道内各地に308名配置し、地域の外国語教育の充実や国際交流の推進を図った</p> <p>○北海道国際交流・協力総合センターと連携し、南米技術研修員を3名受入れたほか、留学生受入プロモーションサイトの運営や留学ガイドブックの作成・配布、道内の留学生を「留学生サポーター」として90名任命し、北海道や大学の魅力をSNSで母国へ発信してもらうことで、国際化の推進や留学生の受入拡大を図った</p> <p>○JICA研修員受入事業として、オンラインではあったものの29名の研修員に対し、課題別研修を実施し、発展途上国の技術の向上を図った</p>

連携状況	「北海道人材確保対策推進本部外国人材分科会」において各種取組の情報共有を図り、連携して事業に取り組んだほか、民間が実施する留学生向けイベントでのPRブースの設置、北海道大学が実施するシンポジウム等への参加、地域国際協会であるHIECCとの連携に加え、令和4年2月に包括連携協定を締結したJICAとも双方の事業のPRを行うなど関係機関等と密に連携を図り、取組が効果的に推進された。
緊急性優先性	道内の外国人数は令和元年に4万人を超え、外国人の方々が本道で安心して働き、暮らすことができる環境づくりが急務であるため、「令和5年度 国費要望」において、外国人相談センターへの支援措置の継続及び拡充、多文化共生の実現に向けた新たな交付金制度の創設などを要望している。また、道民と留学生の交流の場として、留学生地域交流会を道内各地で開催するなど、水際対策の緩和により、今後回復することが想定される外国人の受入拡大・共生に向けた環境づくりに取り組んでいる。

令和4年度 基本評価調書②	施策名	外国人の受入拡大	施策コード	0213
---------------	-----	----------	-------	------

<成果指標の達成状況> ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	人	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
外国人留学生数		目標値	3,093	3,194	3,396	3,700	106.2%	A
		実績値	3,886	3,705	3,608			

設定理由 海外との人材交流等の現状を図る指標として設定。

分析（主な取組と成果）

大学や（公社）北海道国際交流・協力総合センターと連携の下、外国人留学生の受入拡大等に努めたが、R3年度の実績値はコロナ禍の出入国制限の影響により、前年度から減少しているが、目標値は達成している。

指標名②			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						

設定理由

分析（主な取組と成果）

指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						

設定理由

分析（主な取組と成果）

【総合判定】

連携状況	○	緊急性優先性	○	指標判定	A	総合判定	順調
------	---	--------	---	------	---	------	----

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	(公社)北海道国際交流・協力総合センター補助事業などを通じ、留学生の受入拡大や卒業後の道内への定着などに向けた効果的な取組を推進する。
	②	JICAとの包括連携協定に基づく取組を推進し、海外における北海道のPRなどを通じ、留学先としての北海道の魅力や知名度の向上を図る。
	③	

令和4年度 事務事業評価調書	施策名	外国人の受入拡大	施策コード	0213
-----------------------	-----	----------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性	
0907	0216	一般	国際交流推進費(語学指導等外国青年招致事業費)	・外国青年を道や市町村に配置し、地域社会での諸活動を通じて、地域の外国語教育の充実や地域レベルでの国際交流の進展を推進	国際課		17,330	17,330	0.6	0.2	0.8	23,557			
0908	0216	一般	国際交流団体活動推進費(北海道国際交流・協力総合センター補助金)	・公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター(北海道の地域国際化協会)の事業に対する支援	国際課		87,385	87,385	0.5	0.7	1.2	96,726			【事務事業のコスト】道からの補助金等が事業費の2分の1を超える状況であるが、道が主体的、政策的に関わっていることについては理解する。今後においても道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めること。
0909	0216	一般	国際交流推進費(災害時外国人多言語支援事業)	・災害時多言語支援センターの設置に合わせて、外国人の支援に係る訓練やボランティアの育成など防災対策を実施	国際課		2,689	2,689	0.2	0.7	0.9	9,695			
0910	0216	一般	国際交流推進費(多文化共生に係る課題解決地域連携モデル事業)	・道内3地域で市町村、国際交流団体等を対象に課題解決型のワークショップを開催し多文化共生の推進を図る	国際課		1,520	1,520	0.5	0.6	1.1	10,082			
0911	0216	事務	多文化共生事務に関すること	・道内に在住する外国人住民との共生環境づくりに関する事務	国際課		0		2.6	0.6	3.2	24,909			
0912	0216	事務	国際企画事務に関すること	・課内の総合調整、外務省との連絡調整、北朝鮮による拉致事件、国連協会北海道本部に関する事務、予算決算、経理等に関する事務	国際課		0		3.0	0.1	3.1	24,130			
0913	0216	事務	国際政策事務に関すること	・国際政策の総合調整、北海道グローバル戦略、クールHOKKAIDO等に関する事務	国際課		0		1.4	0.1	1.5	11,676			
0914	0216	事務	国際課総合調整事務	・課内の総合調整に関する事務	国際課		0		4.0	0.4	4.4	34,250			
計							0	108,924	108,924	12.8	3.4	16.2			

